

添付書類②-2 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

科目名	単位数	時間	開講時期	担当講師		
分娩期の助産診断・技術学	2	60	4月～8月	伊藤 優美 石川 雄大 北田 恵美	(旭川医科大学 産婦人科学講座) (助産院あゆる 院長)	
科目のねらい	<p>本科目では分娩期の助産診断、助産の実践ケアに必要な知識と基本的技術、態度を習得し、助産過程を展開できる能力を養うことをねらいとする。</p> <p>助産師は独立して正常分娩を介助できる能力が求められる。また、母子ともに安全で、産婦及び家族が身体に組み込まれた自然のメカニズムを十分に発揮できるように分娩介助・ケアを行う。分娩は異常に移行しやすい因子を多分に含むため、二つの生命を預かる助産師の責任は大きい。ここでは、正常な分娩経過・機序、分娩の母児に及ぼす影響についての知識をもとに、分娩経過及び健康生活に関する助産診断を理解する。さらに、その助産診断に基づいて、ケア・指導を行うための技術及び分娩介助の基本的技術を習得するとともに異常の予防・早期発見、救急処置の基本技術を理解する。</p> <p>本科目は「周産期の生殖生理」と関連させて学習を進め、『助産学実習』において具体的方法を実践する。</p>					
目的	<p>分娩期の助産診断の原理と技法を習得できる。</p> <p>分娩期の助産実践に必要な基本的技術を習得できる。</p> <p>原理に基づいて正常分娩の介助ができる。</p>					
単元名	教育内容		時間数	方法	担当講師	備考
分娩期の助産診断	1 助産診断の目的		8	講義	伊藤	
	2 助産診断の基本技法					
	1) 分娩期の健康診査の基本原則 2) 各種の健康診査方法					
分娩期のケアと指導	3 助産診断		14	講義 演習	伊藤	
	1) 分娩の経過に関する診断 2) 分娩期の健康生活に関する診断					
	1) 分娩期のケアの目的 2) 分娩各期のケア 3) 異常産婦のケア 1) 異常分娩の要因とケア 2) 異常分娩の産婦に与える影響 3) 救急処置 4) 会陰縫合術					
分娩介助	1 分娩介助の定義		2	演習	石川	
	2 分娩介助技術		10	講義	伊藤	5月～6月は分娩介助の基本技術を演習する
	1) 分娩介助の準備・清潔野の作成 2) 分娩進行の判断 3) 努責・呼吸法の誘導 4) 肛門保護・会陰保護 5) 児頭・肩甲・軀幹娩出		20	演習		
	3 出生直後の新生児の処置・ケア		4	演習	北田	8月は事例の状況を設定して分娩介助の校内実習を行う
	4 胎児付属物の娩出と診査					
	5 分娩と諸記録					
6 フリースタイル分娩の介助		2			*筆記試験に合格した者が技術試験を受けられる	
筆記試験		2				
評価方法	筆記試験・技術試験					
テキスト	助産学講座7分娩期・産褥期 助産師基礎教育テキスト5分娩期の診断とケア 助産師基礎教育テキスト第7巻ハイリスク妊産褥婦・新生児のケア プリンシプル産科婦人科学2産科 最新産科学正常編 最新産科学異常編 助産師のためのフィジカルイグザミネーション 産婦人科診療ガイドライン産科編2023					